

4 人口資質からみた人間能力に関する国際的比較研究

資 料 課

- 1 人口統計の解析的研究
- 2 世帯統計の解析的研究
- 3 簡速静止人口表の作成とその諸方法の評価と分析
- 4 第5次出産力調査結果の分析
- 5 人口統計資料の評価、補正および利用に関する研究
- 6 特殊資料に基づく人口に関する研究
- 7 資料の編成
 - (1) 人口統計資料の編成
 - (2) 人口図および人口地図の作成
 - (3) 人口に関する文献の編成
- 8 所の発行する資料の編集および配布
- 9 図書・資料の収集および管理
- 10 定例研究報告会およびシンポジウムの開催
- 11 資料の照会に対する相談

昭和44年度実地調査の施行

人口問題研究所では、昭和44年度の実地調査として「都市および農村における家族構成と就業形態の変化に関する調査」を6月1日をもって実施する。その要綱を掲げると次のごとくである。なお、今回の調査は人口政策部ならびに人口資質部の担当において行なわれる。

都市および農村における家族構成と就業形態の変化に関する調査要綱

(昭和44年4月1日)

1 調査目的

急激な人口移動の結果として、都市および農村の家族構成が最近いかなる変化を示しているかの実態を明らかにするとともに、心理的社会的側面からみた人口資質を明らかにすべき事項を調査し、もってわが国人口の再生産力および労働力の保持に関する対策樹立の基本的資料を得ることを目的とする。

2 調査方法

配票自計主義による。

3 調査対象

全国の世帯総数2,705万世帯（人口問題研究所推計）の約2,000分の1に相当する14,000世帯を調査対象とする。

4 調査地域

次の14都道府県については、都市または農村のうちより2地域を選定する。

東京、愛知、大阪 都市のみ

岩手、島根、宮崎 農村のみ

北海道、山形、千葉、福井、長野、広島、徳島、佐賀 都市と農村

5 調査期日

昭和44年6月1日

6 調査事項

(1) 全世帯について

- (a) 各世帯員の氏名，世帯主との続き柄，男女別，出生年月，出生地，配偶関係，教育程度，職業，月収
- (b) 世帯員のうち既婚者の性質や性格，社会的志向性，家族計画の実行不実行，生きがい，未来観，階級帰属意識

(2) 農村世帯について

- (a) 世帯員のうち勤労者の就業状況
- (b) 世帯員のうち転出者の出生年月，教育程度，転出時期，転出理由，転出後の職業および居住地
- (c) 世帯員のうち転入者の転入時期，転入理由，転入前の職業および居住地，離職の理由，再就職の希望
- (d) 農家世帯あるいは漁業世帯の経営形態
- (e) 農家経営の見通しと希望

定例研究報告会の開催

(昭和44年1月～3月)

<回>	<年月日>	<報告題名>	<報告者>
25	昭44. 1. 8	経済成長研究所(デリー)で開催の「第2回社会開発に関する社会学地域研修セミナー」(1968.11.25～12.20)出席報告	駒井 洋 技官
26	昭44. 1. 22	労働力人口の推移と就業構造の変化(2)ーホワイト・カラー一層について	柴田 弘捷 技官
	"	昭和44年度実地調査「都市および農村における家族構成と就業形態の変化に関する調査」(計画案)について	人口政策部 人口資質部
27	昭44. 1. 29	ハワイ東西センター「人口研究プログラム」国際諮問委員会第1回会議について	黒田 俊夫 技官
	"	昭和44年度実地調査「都市および農村における家族構成と就業形態の変化に関する調査」(計画案)について(つづき)	人口政策部 人口資質部
28	昭44. 2. 5	日本人の寿命の動向のもつ問題点	渡辺 定評議員
29	昭44. 2. 12	昭和43年度調査研究実績概要報告	各部科・課
30	昭44. 2. 19	昭和43年度調査研究実績概要報告(つづき)	各部科・課
31	昭44. 2. 26	昭和44年度調査研究項目打ち合わせ	各部科・課
32	昭44. 3. 12	昭和44年度調査研究項目打ち合わせ(つづき)	各部科・課

資料の刊行

(昭和44年1月～3月)

<資料題名(発行年月日)>

<担当・協力者>

◎「研究資料」